



## 平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果について

10月27日に国立大学法人評価委員会から「平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果」が公表されました。概要は次のとおりです。

### (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

【評定】中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

- ・年度計画の記載5事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と判断され、これらの状況等が総合的に勘案された。

### (2) 財務内容の改善に関する目標

【評定】中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

- ・年度計画の記載6事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と判断され、これらの状況等が総合的に勘案された。

### (3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報提供に関する目標

【評定】中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

- ・年度計画の記載2事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と判断され、これらの状況等が総合的に勘案された。

### (4) その他の業務運営に関する重要目標

【評定】中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

- ・年度計画の記載5事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と判断され、これらの状況等が総合的に勘案された。

国立大学法人評価委員会は、上記の4項目について以下の5種類により進捗状況を示す。

- 「中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある」
- 「中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」
- 「中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる」
- 「中期計画の達成のためにはやや遅れている」
- 「中期計画の達成のためには重大な改善事項がある」

\*評価結果の全文は本学のホームページ ([http://www.akita-u.ac.jp/honbu/info/in\\_check.html](http://www.akita-u.ac.jp/honbu/info/in_check.html)) に掲載しております。

<参考> 全国国立大学法人（大学共同利用機関を含む）の  
平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果の状況

中期計画の達成に向けての 評価	評価項目別の法人数（全90法人） (*）秋田大学の評価			
	(1)業務運営の改善 及び効率化に 関する目標	(2)財務内容の改善 に関する目標	(3)自己点検・評価 及び当該状況に 係る情報提供に 関する目標	(4)その他業務運営 に関する重要目 標
特筆すべき進捗状況にある	2	2	0	3
順調に進んでいる	72(*)	83(*)	89(*)	81(*)
おおむね順調に進んでいる	16	5	1	6
やや遅れている	0	0	0	0
重大な改善事項がある	0	0	0	0

広報へのご意見などは評価センターへ

TEL: 018-889-2937 (評価課) / FAX: 018-889-2939/ E-mail: [sokikaku@jimu.akita-u.ac.jp](mailto:sokikaku@jimu.akita-u.ac.jp)

\* 評価センター広報は秋田大学キャンパス共通システム (AU-CIS) 「全学掲示板」にも掲載しております。

## 国立大学法人及び大学共同利用機関法人の第2期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領について

第2期中期目標期間評価の実施要領については、平成22年6月の国立大学法人評価委員会総会において改善方針が示されておりましたが、このたび、これを踏まえた「国立大学法人及び大学共同利用機関法人の第2期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領」（以下「実施要領」という。）が作成され、10月27日開催の同委員会で決定されておりますのでお知らせします。

第1期中期目標期間評価実施要領との主な変更点は、以下の比較表のとおりです。なお、本実施要領には、波線部分の記載はされておりませんが、先般行われた「国立大学法人等評価実務担当者連絡会議（主催：文部科学省／評価センター及び評価課出席）」における説明内容を付記したものととなります。

第1期中期目標期間評価	第2期中期目標期間評価
「暫定評価」を実施	「暫定評価」を実施しない
—	<u>実施要領1ページ</u> （新規） 各法人の質的向上を促す観点から、戦略性が高く意欲的な目標・計画等は、達成状況の他にプロセスや内容を評価する等、積極的な取組として適切に評価する。 <u>仮に目標、計画等が十分に達成されなくても、そのプロセス等を踏まえて適切に評価することを明確化。</u>
—	<u>実施要領1ページ</u> （新規） 例えば、世界最高水準の教育研究の実施、計画的な人材養成等への対応、大規模基礎研究や先導的・実験的な教育研究の実施、社会・経済的な観点からの需要は必ずしも多くは無いが重要な学問分野の継承・発展、全国的な高等教育の機会均等、地域や国際社会への貢献、教育研究の国内外連携を通じた実施等、法人の多様な役割に十分配慮する。 <u>各法人の多様な役割を明確化するよう評価、各法人の機能強化の促進に向けて評価する。</u>
—	<u>実施要領4ページ</u> （新規） 各法人が中期目標の前文に掲げている「基本的な目標」に対する具体的な取組状況について、各年度の進捗状況の確認も踏まえ記述する。 <u>各法人のミッションをより骨太に評価する。</u>

また、「国立大学法人及び大学共同利用機関法人の第2期中期目標期間における各年度終了時の評価に係る業務実績評価に係る実施要領」についても一部改正がありました。当該実施要領及び国立大学法人総会資料は秋田大学キャンパス共通システム（AU-CIS）「電子書庫（評価センター）」に掲載しております。（各部局等へ別途送付を予定しております。）

### 第11回評価センターFD・SDシンポジウムの開催について

このたび当センターでは、FD・SDシンポジウムを企画しました。（\*添付ポスターのとおり。）多数の教職員の方にご参加をいただきたくご案内申し上げます。



「大学評価」について理解を深め『評価』をもっと身近に感じていただくために企画しました。教職員の方の多数のご参加をお待ちしております。

テーマ

# 大学評価

『評価をもっと身近に』

日時

平成23年 **11月16日** (水)  
14:40~17:00

会場

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー  
2階 大セミナー室

タイムテーブル

14:40	開会挨拶
14:50	基調講演
16:00	休憩
16:10	講演
17:00	閉会

## ■ 基調講演

「大学評価 — 評価をもっと身近に —」

講師 独立行政法人大学評価・学位授与機構  
理事 岡本 和夫 氏

## ■ 講演

「監事から見た大学改革」

秋田大学監事 渡部 文靖